

化学研究部 感染症対策

1, 感染症予防対策等

○共通事項

- ・ 顧問が不在の場合は、活動を行わない。
- ・ 活動開始前に検温と健康観察を行い、体調不良者は見学も含め活動に参加させない。
- ・ 活動前、活動中、活動後、消毒用アルコールを利用して消毒を徹底する。
- ・ 器具等も活動前後、消毒用アルコールで消毒を徹底する。

○部独自の事項

- ・ 化学室の換気を頻繁に行う。
- ・ 実験は手指消毒後、使い捨てのゴム手袋を着用して行う。
- ・ 安全第一。必要に応じて、ゴーグルを使用する。使用前後にゴーグルは消毒する。
- ・ 実験器具等は消毒用アルコールで消毒してから使用する。
- ・ マスクを着用する。
- ・ 活動が密にならないよう、距離をとって実験を行う。1テーブル2名以内とする。
- ・ 実験台は使用の最初と最後に、雑巾で拭き、その後、消毒用アルコールで消毒する。

2, 活動計画

活動日・時間

- ・ 活動日は原則、火曜日と水曜日の放課後とする。ただし、発表会等の日程が近く、実験・発表要旨作成及びプレゼンの準備が必要な場合は、それ以外の日もえの
- ・ 通常の活動は2時間以内とする。

活動計画

○県内外の科学研究発表会への参加をめざし、テーマを決めてグループ研究を行う。

◇参加をめざす主な発表会は次のとおり。

徳島県科学経験発表会、日本学生科学賞、全国高校生総合文化祭、
全国化学グランドコンテスト、徳島県SSH生徒研究合同発表会ほか

活動により期待できるもの

- ・ 実験を行うことによる科学的思考能力の向上。化学に対する興味関心、理解の深化。
- ・ エネルギーや環境問題に対する理解と意識の高まり。
- ・ ICT活用能力及びプレゼンテーション能力の向上。
- ・ 発表会への参加経験による各自の進路への意識の向上と活用。